夕刊 磐城新聞
十月十八日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)

聞いた話、讀んだ話

黒頭巾生

一

内郷の長者現磐島貯蓄銀行頭取加藤丈夫氏は、月の半ばを福島で暮し、あとの半分は、平と内郷と云ふ様に、その關係してゐる事業らも頗る多方面に亘り、隨に御忙しい生活を送つて居らる方であるが、先日福島商業會議所に於て、市内の使用人の大會があつた際に、來賓として列席して居つたのであるが、突然司會者が氏の前に來て『一つ敎訓になる様な御話しを願ひます!』と此新任の頭取に敬意を表する様な、或は試驗をする様な風であつた

言論にかけては一歩も人に引けを取らぬ同氏も、咄嗟の事であり一寸は躊躇されたが、そうして居る場合でないので、應揚に身を起し、ゆつたりと演壇に進んで行つたのであつた

一寸は困つた風であつたが、頓智のよい頭取はきつと頭を起し滿場を見廻し、あたかも三軍を叱咤する様な、あの聲聲を張り上げて次の様な話を語出したのである

『前略、我々人間が此世に生存して行く以上は、各自の與へられたる職務を、最も忠實に果さなければならないと云ふ事は誰でも知つて居る事であるが、實際はなか〳〵實行の出來にくいものである。その仕事はそれ〳〵の人によつて種々異るであらう、農家は農道に、商家は商道に、各自の天職を忠實に精勵する事は當然の事であるが、一度主を持つ處の官公吏、或は會社員、其他一般使用人、所謂給料取りになると、その職務に生きると云ふ人は少いものであつて、多くは給料に支配されて居る憾があると思ふ主人が居るから一生懸命に働く、主人が居らないから怠ける、その日の時間を過せばよいと云ふ様な氣分で目先の事許り考へて居る人が多いのではあるまいか?

之では決して立身出世するものではない、孤立しゝも結局成功するものではない人の仕事も自分の仕事も一切を忘れてその仕事に生きると云ふ人でなければならないと思ふ

抑々働くと云ふ事は、はたをらくさせると云ふ意味であると思ふ、自分で出來得る限りの仕事をなし、主人を滿足させ、出來得るならば人の仕事までも援けてはたの人をらくさせると云ふ信念で事に當るならば必ずやその人は信用を得て立身する事は疑ひなき事實であります』と結んだので滿場は全く醉はされた樣に、破るゝ許りの拍手を送つたのであつた

常陸華川村 (1)

島田忠夫

○國越ゆる道にあらねど高まりて多賀の山なみ磐城嶺ひくし

○暑き日にこゝつつゆけば山かげは澤ありてどくだみの花つづくなる

○多賀のおくにわけ入る道はつづけども越えつつ行くに遭ふ人ぞなし

○山あひを堰きてたたふる塘(つつみ)より魚さらへる爲いまとび立てり

○炭燒きて山にいとなむ小屋は見ゆ山草(やまぐさ)ならぬ花を植ゑたり

失題

西尾香樹

何でも良い
ガッチリした奴に
ありつたけの力を出して
組みついてみたい
さうすればこの苦惱が
少しは薄らがふ

斷れ斷れになつて
横さまに飛んで行く
青い葉卷の煙をつかまへ
ようとする臆

ぼろ〳〵と崩れ落ちる壁
をさゝへようとする弱々し
い腕

それは生きようとあせる
空しいしぐさだ
敗れ 敗れ

潮聲硯静抄帳

例會席上再選

新凉

新凉に利き目たゝぬる風藥 文狂
新凉やしわぶきはしる朝詣
殘りたるトマト小さく秋凉し 晩霞
新凉の庭にひろごる日影かな 北窓
新凉の水に眞白きタオルかな 鷹子
新凉や堰をあふるゝ水の音 石城
新凉の床にかけたる瀧の幅 雪水
新凉や雨に濡れたる茶の畑 茂堂

江樓秋夕

珠雲 小野務平

秋消天半雁行長
隔岸平田夕照黄
鼎坐江樓呼酒處
月昇波瀲玉琅璫

議會主議の斷想 (2)

小野英哲

こうした抗辯の餘地ない畸形的ファシヨ政治を華やかな政黨内閣時代に行つた爲めに民心が離脱し去つた原因の一つでもあつたのである

資本主義組織下に成長發展し、經濟文化の進展と共にある政黨は多岐多角に運轉向上されてゐる經濟狀勢に伴つて改組更質されて行かなければ其代辯機關としての役割を果し得ないのである。常に前進してゐる經濟社會狀勢と共に居なければ民意の反映、民衆の代表機關として無價値にされてしまふのである。今日の政黨が民衆から離脱され政權から置き去りを喰つたのも時代と共に改組更質されなかつたからでもある

一部分の時代遅れな顔役的ボス本位に政黨が終始された結果から組織体の弛緩となり、著るしい政治能率の低下といふ現象を來してしまつたのである。未だ傳統的に遺産として地盤が最大の强味として殘されて居るが政治能率には無價値同然でしか無い。常に時代と共に改組更質されなかつた結果、進歩的な財界の大ボスに政黨が左右されて資本家や事業家の御用團体化した觀、嚴かに、疑獄とか瀆職とかの惡質な犯罪の發生を促したのが今日の政黨を運命づける第二の原因でもあつたのである

一時は我國から名實共に議會政治政黨政治が消失するのではないかとさへ思はれる程、政黨の信望が失墜し〇〇の人氣が專横的だつたのであつた。現在に於いても議會も有り政黨も存在して居りながら逆轉された半官僚政治が行はれて居るのである。こうした事態は先きに伊藤公の創定した立憲思想立憲政治の本旨では毛頭あるべき筈のものでは全然無いのである

寄贈書目

△法律新聞十月十五日號
論說:判決特報、雜報、判決例、大審院民事判例、判決例滿載(一部税共十錢五厘 東京市日本橋區本町四ノ五其社)

その日〳〵

10月19日
△東大寺上棟式(建久元)△谷風梶之助始て横綱となる(寛政元)△郡町村長會で凶作救濟に起つ△海岸埋立問題で四倉町會(昭和九)

○

袷のきものゝ美しさは若い女よりも中年女のうまく着こなしたのが魅力あるものだ

小說 誰が殺したか (150)

水谷準作
鶴造寺膽齋畫

第三の殺人 (二十三)

『僕ではないと云ふのだらう。いや、もうその話は止める事にしよう。空しい水掛論だからな。お前は殺人を犯さぬと思つてゐる。俺は犯したと思つてゐる。それでいゝぢやないか。唯俺の愛情はお前をどうにかして、生延びさせてやりたいのだ。法の手をどんな手段を用ひてでも防ぎたい。それなのに、お前はどうしてそのかくべからざる變裝を擲つて、危地に入らうとふのだい?』

『今晩、僕は探偵に襲はれたんです。あの鬼刑事の赤城に』

『なに、赤城に?どうしてだ、話してごらん』

龍太郎の顔はさつと變つた

『僕は赤城探偵が犯罪のあつた翌日から給仕に化けて入り込んでゐるのに氣がついてゐたんで、すると今夜僕に戀を打明けると見せて僕を捕へようとしたんです!』

『うむ、それからどうした!』

『僕は拳闘の一手でノックアットしてやりました。それからこゝへ逃げてきたんです。お父さん、赤城は僕が生きてゐるのを知つてゐるのでせうか?』

淳一の唇は不安げに顫へた

『富士野淳一が生きてゐるものとは知るまい。だが山野道代といふ貴重品係が何物かの變裝したるものだ、といふ事位分つてゐるかも知れませぬ。淳一お前はあの恐ろしい赤城に見込まれたのだよ。あの探偵がこれと見込んだ以上は、そこに何かの特別な理由があるのだ。つまりお前は何か重大な證據を握られてゐるのに違ひない』

『すると、僕はやつぱり男爵夫人も秋山セキ子も殺してゐる事になるんですか…?』

『俺はお前が一時的に發狂するものだと思ふからさう信ずるだけの事だ。赤城はそんな事を知らぬ、他の理由でそれを信じてゐるかも知れないのだよ』

『あゝ僕は僕は、どうしたらいゝんだ』

淳一は頭の毛を掻きむしつて鋭唳れた呻きに似た聲を出だ。餘りといへばあまりにも、富士野龍太郎の言葉は我が子に冷酷な宣告を與へるではないか。たとへ淳一が殺人を犯したにせよそれを否定してやるのが親子の情だといふのに

『淳一、お前の救はれる道はたゞ一筋だよ。それはお前が赤城探偵を亡きものにすることだ』

龍太郎はぢいつと淳一の様子を窺つた。淳一は啞然として聲もたてない

『さうではないか。赤城がゐる以上、結局お前は捕はれの身となるにきまつてゐる。どうせの事なら彼を殺すがいゝ。すると世人はそれも血笑鬼の仕業だと思ふだらう。それを見すましてお前は俺と遠く南米あたりへ逃げてゆくがいゝ。自由の天地は日本にはないからな』

『お父さん、どうせ逃げだすなら、そんな大それた事もせずに一刻も早く逃げませう』

『それはできない。赤城はこの俺にも監視の目は放さない。二人で彼の目をくらますことは不可能に近い仕事だ』

『そうですか。よく分りました。それでは僕、赤城を殺して了ふ決心をします假令それが最初の殺人であつても捕へられるよりは』

『うむ、運命だ。さ、さうと決まつたら一刻も早くこの家を出て行くことだ。俺の洋服をやらう。金もある適當なところに居を定めて出來るだけ巧に赤城を亡きものとするがいゝ。それまでは決して俺と交渉をしてはならんぞ』

廣告

新田町 榮ちゃん
天下一品不味い
おでん愈々始めました
是非御最屓を御願ひ致します
榮ちゃん獨特の料理

急告
豆タク!豆タク!豆タク!の出現
秋のドライヴに、商用に
迅速 低廉
市内三〇錢 市外地普通料金四割引
鈴木自動車豆タク部 四丁目 電話二一七

冬の通學服賣出

中等生用

國防色	6號	4.00	
	7號	4.20	
黒小倉	特A6號	3.80	ヨリ
	A 6號	3.50	ヨリ
	B 6號	2.00	ヨリ
別注文	國防色	5.50	均一
	黒小倉	6.20	均一

ふかや洋服店 平三 電203

毛糸編物講習會
毎日 午前九時から午後三時まで
手編、器械編何でも御敎へ致します
會費 一日二十錢
平町田町 ハシモトヤ糸店 電十四番

入院隨意(自炊の便あり)
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院 (電話一二九)
病室完備

磐城共濟病院 (福島縣平町 電話六四一番)
内科 院長醫學博士 石山謙郎
小兒科 部長醫學博士 佐藤尚輔 手醫學士 岩 (電話六四一番)
產科 婦人科 部長醫學士 黒澤廣
外科 耳鼻咽喉科 部長醫學士 大町久藏
皮膚泌尿器科 花柳病科 部長醫學士 前澤正 (電話二七二番)
X線科 物療科 醫學博士 石山謙郎 技手 石山彪
藥局 藥局長 藥劑師 吉本孝平
事務長 鈴木寶雄
◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎病室完備 入院隨意

福祿ストーブ福引景品付大賣出し
◇景品總額五萬圓◇
期間 昭和十年九月廿五日ヨリ
同 十二月二十日マデ
賣出規定…
福引券 ストーブ御買上ノ方ニ左ノ割合ニテ進呈致シマス。
フクロクストーブ一號…大衆(中型)寶(大、小)各一本ニ付一枚
フクロクストーブ二號…大衆(大型)各一本ニ付二枚
フクロクストーブ三號…各一本ニ付三枚
フクロクストーブ四號…各一本ニ付四枚
抽籤發表 昭和十一年二月十一日東京朝日新聞ニ發表致シマス。
景品引換 昭和十一年二月十五日ヨリ四月十五日迄福引券引換ニ最寄ノ代理店ニテ景品ト引換致シマス。
景品 福引券一千枚ヲ以テ一組トシ當選ノ方ヘ左ノ景品ヲ差上グ
一等 百圓 一本
二等 參拾圓 二本
三等 拾圓 三本
四等 五圓 四本
等外 特製福祿便箋(空籤ナシ)
福祿ストーブ販賣代理店
平町五丁目 釜屋商店
平驛前 阿部石炭商店

松茸そば
松茸丼 始めました。
どうぞ御試食下さい。

江戸前
海老天婦羅
天ぷら
天丼
親子丼
平田町
酒喜家
電話一七一番

弊店ネオンサイン外交員と稱し外交致し居る者有之候由に御座候へ共、右は弊店との關係一切無之候間御承知被下度御願申上候
平町二丁目
日東商會
各位

内外
建築材
建具材
入 阿部材木店
磐城國平町(公園下)
阿部好利 改メ(章)
電話四九四番

平第二の四百繼走外 好調子に新記録續出
磐女陸上運動會終了

秋健か

磐城高等女學校の第二十二回陸上運動會は昨十七日の神嘗祭をトし午前八時より開催、十年來雨知らずの好天候日を誇つた同日も朝來曇天で午近きから雨となり午前十一時終に中止、今十八日午前八時から續行正午無事終了したが呼物の小學校女兒四百米繼走は平第二校チームが五十九秒二の新記録を獲得して三年連勝、百米繼走は植田校小磯靜枝孃が一四秒四の之亦新記録で二年連勝した、又校內學年對抗各種競技は百米競走に於て三年比佐道子孃が己れの有する一三秒八の同校記録並に縣記録一三秒六を破り一三秒二の縣下新記録を贏ち得た外は大差なく、二、三、四、一の項序で二年が優勝した

△四百米繼走 1平第二チーム（鈴木光子、山野邊トミエ、花澤綾子、根岸トキ）＝五九秒二（新記録）2平第三チーム 3湯本入山チーム

△百米競走 1植田小磯靜枝＝一四秒四 2平第二鈴木光子 3湯本入山齋藤きみ

平商遠足會

平商業學校では今十八日各學年左記方面に遠足運動會を催した

一年—石森山 二—好間村上ノ原 三—飯野村荒川 四、五—內鄕村白水阿彌陀堂

鐵道 軟式 野球

平鐵道倶樂部の軟式野球試合は二十日午前九時から第一、平商兩校グラウンドで擧行、優勝旗をめぐつて期待されてゐる

第四小學敷地買收交渉
町營グラウンド分と併せ 委員本格に乘り出す

來年度に土地買收費を計上し愈々翌十二年度から第四小學校着工の計劃を進めてゐる 町では十六日委員會を開き敷地買收に關し協議した 學校敷地は約八千坪、これに附隨して町營グラウンド敷地として約一萬坪をとつてゐる

出稼數に現れた郡下の天惠地福
他方面に比し僅少

◇職業紹介所調査にかゝる郡內の昨年度出稼人員は

	縣外	縣內
製糸	二四〇	七四
士工	四六	三三
鑛夫	三三	一一
農耕	二〇	—
女中	一六	一七
計	三五五	一三四

で縣外出稼人の行先は主に東京、千葉、群馬、大阪、茨城、岩手、北海道、栃木等で更に今年の冬期農閑期出稼人は現在の處製糸女工の百三十名（行先東京、神奈川、群馬）を筆頭に鑛山三〇名（同茨城、福島、岩手）女中二〇名（東京）漁業四〇名（宮城、茨城、岩手、靜岡）農耕二〇名（宮城、茨城、北海道）等で合計二百四十名、凶作程度は他縣に比較してはそれ程甚しくなくそれに炭鑛等のある關係から冬期間の職場も充分なので他所に比しその數も極めて少數であると

內田鐵相通過

內田鐵相は今十八日午後十時二十三分平發下りで鹽釜に向ふ

東部電力で別雷神奉祀
昨日飯野で遷宮式

東部電力會社平發電所（在飯野村谷川瀬）では、昨年移轉して事務開始以來兎角厄事多く意安からぬ所から今回同所內に同字舊祀の興力大明神を併せ別雷神社を奉祀、今十八日平、飯野兩町村方面から約七十氏を招き遷宮式を行ひ簡素な祝宴を張つた

收穫前に檢分慫慂
地主小作間の紛爭防止に けふ青沼町長から通牒

今年の稻作減收豫想により稻苅直後に小作料の減免要求をする時は地主との紛議を醸す虞れもあるのでこの要求は稻苅前十五日頃小作人より地主に對し檢分の要求をなし双方立會の上當事者間で圓滿協定を圖るやう青沼町長から十八日各區長宛通牒を出した、尚町役場調査による米作農家數は百九十五戸で昨年より十六戸減少

過傷運公に罰金

小名濱町中坪自動車運轉手小出龜吉（三〇）は七月十二日午後三時頃魚類を滿載したトラックを運轉して相馬郡太田村地內國道を疾走中不注意から同村渡邊榮治郎を轢倒し顏面、左脂部等に要三週間の傷害を與へ此程平區より略式罰金四十圓

地方天狗連 盤上の爭覇
廿日平で將棋大會

平町將棋互樂會對湯本將棋倶樂部の代表將棋大會は明後二十日午前十時より平町五丁目吉田屋樓上に開くが平側は馬目宗平、佐藤榮造樋口小彌太、大塚千代吉外一名、湯本側は駒木根、大矢外三名の五名宛の平手盤爭覇戰で善戰を期待されてゐる

家賃滯納の店子を毆る
竹箒で武勇傳發揮

平町正月町スッポン龜商岡野長四郎（五七）は昨十七日夜八時頃店子である紙屑拾ひ坂本菜（六二）方へ家賃四圓の催促に行き口論の末竹箒で坂本の頭部を毆りつけ全治一週間の打撲傷を與はせ平署で取調中

村長交代の玉川 先づ條例を改正
結局宮內助役昇格か

嚢に村長選擧の村會を開き乍ら先決たる條例改正の手續きに遺漏あつた爲折角決した宮內久枝助役昇格の効力が發生しなかつた玉川村では昨十七日午前十時から更に條例改正の村會を開き從來の有給村長を名譽職に改正の件を議決し其筋に認可申請の手續きをなしたので右認可の指令あり次第村長選擧村會を開き前記宮內氏に決定さるゝ狀勢に在る、因に新村長と目されてゐる宮內助役は現に村會議員の職に在り野崎前村長の後を襲ひ有給助役に就任する時は村會議員の議席から離れ現村會の分野に或種の影響を來すので名譽職の村長と共に村會に止まり政友派の現有勢力は從前通り維持されるわけである

物的證據は上らぬが大体犯罪の眞相判明
事件突發後二週日の三阪村區長殺し
捜査陣躍起の奮鬪着々奏功

既報—三阪の山村を震駭せしめてゐる區長殺し事件は發生以來既に十三日、事件の眞相を糺明する物的證據の上らぬ處から一部間には早くも迷宮入りの聲さへ起つてゐるが捜査陣の躍起奮鬪も愈々奏功して着々捜査範圍がせばめられ漸く事件の核心にふれんとして當局の胸を躍らしてゐる

卽ち事件發生以來容疑者として收容した八名中大谷陽（四二）佐藤嘉吉（五八）藁谷菊次郎（四五）藁谷一興（三五）等に對してはや一と亘り取調べを進めた結果兇行の自供は無いにせよ死體遺棄等をほのめかしたものもあつた等益々有力な自供も出て來たので愈々今十八日頃から嫌疑濃厚な阿部衞（五五）白石鶴治（三〇）並に鶴治の實兄で清の養子たる阿部長門（三五）の三名に對し最後の取調べを進める事になつた、區長對反區長の反目續く同部落の禍根を斷つ上に於ても將來にとつて有益な材料を蒐集すべく當局の奔走に對し八卷縣刑事課長は捜査隊の慰問を兼ねて十六日夜來平、一泊の上昨十七日早朝から柴田署長、齊藤司法任等と共に自動車で現場に急行、實地檢分の上夕刻川前驛から歸廳、今後愈々刑事課と連絡して一日も早く事件の解決に努める事になり物的證據固めの捜査に留まつてゐた柴第二司法主任の一隊も同夜遲く現場を引擧げ歸廳した

兩三日中判明か
檢索の活動に就いて 柴田署長との一問一答

八卷刑事課長と別れて昨夜六時半歸廳した柴田署長との一問一答——

問『何か物的證據が上つたか』

答『遺憾ながら直接の證據と見るべきものはないが有力な材料を蒐集した』

問『從來の取調べは』

答『直接手を下したものではないと自供してゐるが隠して置く處もあるやうだから尚調べる、事件の動機が計劃的なら直接關係者になるかも知れぬ』

問『事件を誘發させたと云はれてゐる山林問題とは』

答『阿部忠男と阿部清がその問題で對立してゐた處へ忠男組の區長が清に不利な證明書を出してゐたやうだ』

問『部落民の氣勢は未だ尖鋭化してゐるか』

答『はや對立の氣勢もなく何れもなりをひそめてゐる』

問『捜査範圍もせばめられて解決も近いやうに思ふが』

答『せい〴〵兩三日と云ふ處だらう』

電報の打方が惡いと局の硝子を叩き割る
泥醉漁夫の公務執行妨害

小名濱町上町四八漁夫御代龜太郎（三九）は十六日夜泥醉の上同町郵便局に至り『電報の打方が惡い』と局員に喰つてかゝつた上硝子戸等をメチャ〳〵に破壞、目下平署に公務執行妨害として取調べられてゐる

百五十年前に遡る對立抗爭の歴史
陰慘な下三坂今昔譚

事件未解決から暗澹たる空氣の漂ふてゐる下三坂部落の對立紛擾は遠く百餘年前に源を發して居る、今から百五十四年前天明の大飢饉に際し同部落民が一時離散した當時この主領たる笠間領はいたくその衰微を憂慮してこれに加賀から約二十名を移住せしめたのが現在の區長派、爾來新百性と蔑すまれ乍らも移住民の勢力が漸次擴大するにつれて土着民（現在の反區長派）との勢力爭ひが嵩じ、これに宗派（區長派淨土眞宗反區長派淨土宗）や緣組の關係などお互夷狄を見る如きであつた兩者の反目が愈々激化しこのいがみ合ひが終に昨年の青年分團長の椅子爭ひに爆發、忌はしい流血の慘事をさへ惹き起したもので今回の白石氏葬儀に際しても親戚でありながら會葬せぬものすらあり、或る反區長派の如きは後方で盛んに野次を飛ばした等の唾棄すべき行爲を敢てしたのに平署員も少らず呆れ返つた程である

平局電話料納入成績
從來に比し飛躍的の向上

平局の電話料金納入は局の督勵と各加入者の自覺により逐次成績の向上を示しつゝあり、之を去る三月以降八月迄の統計に徴するに八月分の如きは告知書發行數六百五十八中納期內納付數六百三十三、同上未納數二十五、之の納付割合九、六二と云ふ殆ど完納に近い好成績を示し前年同期の四、六五に比し實に二倍以上の好成績である

最近納付成績

月次	告知書數	納付割合
三	六四〇	七、二四
四	六四七	六、八六
五	六三八	七、一五
六	六四六	七、七八
七	六三八	八、九六
八	六五八	九、六二

因に前年同期の成績は最惡が半數にも滿たざる五月の四、二五最良と雖も三月の六、九九を出て居らぬ

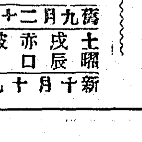
お披露目

二葉家から喜仙、美人で明朗で而も澄まさず氣取らず大ていなお客は持て餘さぬが但し法外にニヤケた殿方は向かぬ節々もありとかや

十九日

（小名濱測候所調查）

日出 五、四六 月出後一〇、五七
日沒 四、五八 月沒前 〇、三四
滿潮 前一〇、四〇 後七、三〇
干潮 前二、四〇 後二、一〇



舊九月二十二日
土曜 戊辰 赤口 破 氏宿
新十月十九日

諸判定應需
東京市本鄕區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部 神誠館

▲一白 僅かの事にも取越苦勞を生じ不安勝なる日▲二黑 自由を欠き散財失策を招き困難と戰ふ凶日▲三碧 手順を整へ活動の準備を爲すに適當なる日▲四綠 重荷は益微力にたへ難くひへいを增す不安日▲五黃 手綱を引締めてきようほんを防ぐがよし病厄注意▲六白 計畫をたてそろうなく奮勵すれば終に功あり▲七赤 利福自ら一家に及ぶべし精勵するが尤も吉▲八白 無造作に事を企つれば泥ぬまに足を入るゝ如し▲九紫 わう盛なる氣運を辿る萬事進んで大吉となる

丹野齒科醫院
丹野淳夫
平驛前 電話三八五番

產婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 立番彌一
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地 木村病院 電話一六四番

修得短期 經費低廉
現代的— 紫山流盤景教授
一、材料器具が安く何回でも使はれる。
一、練習二三回の初心者の作品でも直に床の間を飾るに充分である。
一、一週間一回六ヶ月で修業出來る。
一、繪畫の素養全く無き老若男女どなたにも習得出來る。
平町白銀町 紫山流盤景師範 高橋光山 電話六三八番

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

夜間診療
胃腸性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院（平町南町電話一〇七番）

耳鼻咽喉科專門
高柳醫院
平驛前（電三三六）
醫學博士 高柳博明
（入院應需 自炊ノ便アリ）

創業十二週年紀念大賣出し
店舗改築 營業革新……大飛躍の大塚
店內小デパート式（鋪裝道路完成）
期間 十月二十六日マデ
素晴らしい……紀念品もれなく進呈
外に五圓以上……一割引
○大塚の靴 スマートな型 堅牢な品質 驚異的な其値段
△月星運動靴，月星ゴム長靴
○大塚の運動具 今や酣の秋のシーズン
野球競技用具各種 本年は特に力を入れて居る
各種服裝類……豐富陳列
靴と運動具の 大塚
平・田町（銀座通り） 電話七十七番